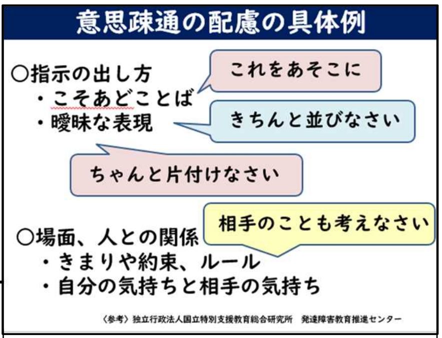
No. 5「校種別で行う研修（第４回）」（令和５年９月 26 日発行）

第４回は、小学校は理科、社会科の授業づくりと特別支援教育について VOD 研修で行いました。中学校は、午前に、特別支援教育について VOD 研修を行ったあと、午後から各教科の授業づくりを双方向オンライン研修で行い、各教科の特質に応じた授業づくりについて考えました。

校種共通

【特別支援教育】



【講義・演習のスライド】
特別支援教育の基本的な理解とともに、児童生徒に対する具体的な指導・支援を学びました。

〇研修に向けて

- 特別支援教育では、それぞれの児童にあった支援を行っていくことに難しさを感じています。支援を必要とする児童に対しては、積極的に声をかけているが、うまくいかないことが多いです。
- 特別支援教育は、個別最適な学びを実現していく中で、今まで以上に知識を増やさなければならないものです。発達障害について詳しく学ぶ機会とし、学んだことを活用して適切な合理的配慮が行えるようにしたいです。

〇研修の振り返り

- 学校現場に立って、改めて特別支援教育について学び、クラスの子ども達の様子と重ねながら聞くことができ、どういうことで困っているかを考えながら聞くことができました。また、急に計画していた予定を変更することや、音や光に敏感といったこと等、自分では何も思わないところに困っている子どももいるかもしれないと知り、常に子どもの様子や表情を見ながら過ごしていかないといけないと思いました。特に、こそあど言葉や曖昧・まぎらわしい表現等を使ってしまっていたので、気を付けようと思いました。
- 発達障害の生徒は、個々の特性があり、そのことに「彼ら自身も困っている」ということを頭ではわかっていても、いざ対応をすると、「どうして伝わらないのだろう」と感じてしまうことがあります。しかし、研修を受けて、これまでの指示の出し方や、言葉遣いを振り返ってみると、曖昧な表現を無意識のうちにしてしまっていたことに気付きました。これは、子どもをより困らせることに繋がるため、直していきたいと思います。また、縦と横の連携も本当に大切だと分かりました。学校にいるときだけではなく、卒業後に生きていく社会の中で自立することが支援の目標であり、そのために私達も支援の度合いを変えないといけないと思います。その度合いが難しいと感じましたが、生徒一人一人のために今できること、必要なことを行っていきたいです。

小学校

【理科授業づくり】

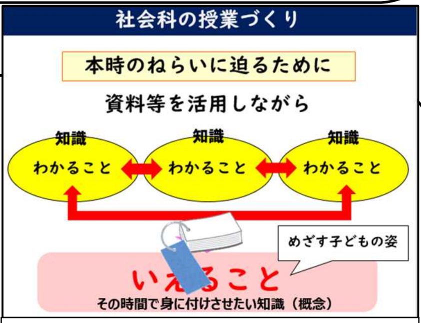
○研修に向けて

- 実験の準備の難しさや発問、授業の流れなど、児童が興味を持てる授業づくりを学びたいです。
- 今年度理科の授業をしていないため、来年度以降に向けてどのように授業づくりを考えるべきなのかを学びたいです。また、理科は予想、実験、考察の流れが大切とよく聞くので、具体的な授業の流れについて学びたいです。

○研修の振り返り

- どの教科でも、授業のねらいを明確に持つこと、めざす子どもの姿を具体的にイメージすることが大切だと学びました。きちんと振り返りを行い、子どもの疑問を大切にし、次の授業に生かしていきたいと思います。
- 結果、考察、結論の違いについて知ることができました。考察の書き方について、学習過程で大切にしたいことを踏まえなければ、理科の見方・考え方を働かせているか分からないため、評価の見取りが難しくなることを学びました。また、実験は子ども達にとって楽しい学習活動ですが、火や薬品を取り扱ったりすることから、事故防止のためにしっかりと注意事項を伝えなければならないと学びました。

【社会科授業づくり】



【講義のスライド】
学習指導要領に基づいた社会科の学習指導について学びました。

○研修に向けて

- 資料をどのように活用すればよいのか悩むことがあります。資料を見て気付いたことを言い合うだけでは楽しくないし、「どう思う？」の質問だけでも視点が定まらず深い学びになりません。また、自力で教科書を読み取る技術を身に付けさせたいですが、時間も限られていることから、バランスが難しいので、解決する方法を学びたいです。

○研修の振り返り

- 先日同じ範囲を授業したところだったため、自分の考えた授業と今日の講義を照らし合わせ考えることができました。例えば、複数の資料を読み取ることは子ども達の活動として取り入れ考えたものの、そこからピックアップして２つの資料を結び付けて考えたり、そこから広がる活動に上手く繋げられたりできていなかったことが分かりました。また、教科書の資料を読みとり、〝理解する〟だけではなく、自分達の生活に結び付けていくのが社会であると改めて感じました。今後の授業では、子ども達が疑問を持ったことや資料等から気が付いたことをもとに授業を展開していけるようになること、その中でポイントを押さえ、覚えなければならないところは覚えること等を意識していきたいです。子ども達がどこまで深められるかも、発問やこちらの投げかけ次第なのだと感じたため、授業をしていく中で改めて考えていきたいです。

中学校

【国語科】

○研修に向けて

・前回までの研修を通じて、本時のねらいを基に授業構想を練ることができるようになってきました。しかし、活動の時間の発問が上手くいっていないからか、授業があまり活性化せず、目標まで到達していない生徒がいるように見受けられます。そのため、より良い発問の立て方について学びたいです。
・書くことへの苦手意識を減らすためにどのような授業を行っていけばよいのか、生徒が学びたい（書きたい、読みたい、話したい）と思うような授業とはどのようなものなのかを学びたいです。

○研修の振り返り

・曖昧な発問ではなく、「どの」、「どれが」、「もし」といったような、焦点化された発問を行うことで、生徒が何に着目し、考えるべきかが理解しやすくなると思いました。授業の目標、ねらいに対してせまっていけるような発問を心がけていきたいと思いました。
・書くことへのハードルを下げるため、短く簡潔に書く取り組みを取り入れたいと感じました。また、意図を明確にして書く活動を取り入れ、論理的に考えられるような取り組みを実践したいです。

【社会科】

○研修に向けて

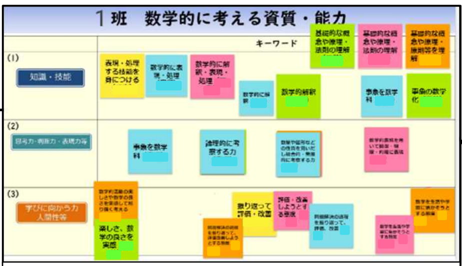
・授業づくりの柱立てや、めあての設定をしても、そのめあて通りの授業を行うことが難しく感じてしまう単元があるので、他の先生方の授業づくりを参考にしてみたいです。
・社会的事象を多面的・多角的に分析しながら授業内容と結び付けることについては、まだ実践できていることは少ないと感じているため、少しでも実践をすることができるように学んでいきたいです。また、資料やタブレットの活用について、いつ、どのように使うかなど生徒の深い学びに活かせる様な授業について取り入れられるように学んでいきたいです。

○研修の振り返り

・学習過程を構造化することで、目的に沿った着眼点や学習内容を整理することに繋がることが分かりました。丁寧な授業づくりをすることで課題の追究・解決する活動を深めることにつながることを考えることができました。学習課題の設定や調べる方法、まとめる方法等の中で、教員が行う工夫の幅を広げ、質を高めていきたいです。
・社会の授業づくりでは、授業毎に子ども達に「なぜ？」という問いかけをすることはもちろん、子ども達からその事象に対して「なぜ？」という疑問を抱かせるような授業づくりが大切だと感じました。授業内容に疑問を感じ、仮説を立て、資料等を活用して調べたり、グループワークを用いていろいろな考えを共有することで自分の考えを深めたり、新たな考えに辿り着くような授業が望ましいと今回の研修を通して感じることができました。表現する際に、過程や構想した事を上手く表現するための術をこれからの研修で学んでいきたいです。

【数学科】

○研修に向けて



【Jamboard を使った班別交流の様子】
Jamboard を使い、意見交流を行い、理解を深めることができました。

・数と式の領域で ICT を活用することが全く無かったので、どのように活用することができるのかを知りたいです。
・子どもたちの数学的活動を活性化していくにはどうしたらいいのか、楽しんで活動に取り組むことができるように、授業づくりの方法をより理解することが大切だと思います。
日々の授業と関連付けて研修で教員同士交流して、考えを深めていきたいです。

○研修の振り返り

・「数と式」「図形」領域から、生徒には何を考えさせて、どんな力を身に付けさせるのかということについて考えました。各単元の利用のところでは、問題を読み取るところから等しい関係を探し出さないといけませんが、全てに通じて「論理的に説明する」ことが大切だと感じました。”なぜ”という言葉を大切にして、これからの授業を作っていきたいです。
・数学的活動について、具体的な例をもとに考えることができました。グループワークで様々な考え方や意見を聞き、考えを広げることができました。現在、授業をするなかで時間の関係上、数学ライブラリー等を活用できないことがあるので、これからは授業時間を工夫し、子ども達の思考・表現できる環境を作りたいなと思いました。

【理科】

○研修に向けて

・仮説や目的意識を持たせて実験を行うにはどうすればいいのかを学びたいです。また、子ども達から意見を引き出すための発問の工夫についても学びたいです。
・課題の把握段階から実験につなげるためにはどのような事を大切にしならが行えばよいかを学びたいです。

○研修の振り返り

・炭酸水素ナトリウムの分解一つとっても、私一人だけでは焦点を当てるところに偏りが見られました。しかし、他の初任者と意見を出し合うことで、他にも焦点を当てなければいけないと感じました。意見交流が非常に大切であることも、改めて実感しました。子ども達にも理科を通じて、そのような感覚を養っていきたいです。
・ICT 活用例で、行った実験を動画にとり次回の授業での振り返りに使うというのは今すぐ実践していきたいです。実験を行う目的を教員から提示していることがほとんどだったため、導入を充実させて生徒に学習の見通しをもたせ、生徒自身がどんなことを学びたいか、そのためにはどういう実験をすればいいのかということを考えることができるような授業を作っていきたいです。

【音楽科】

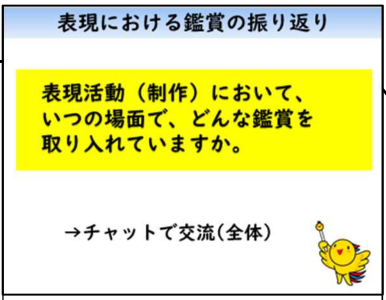
○研修に向けて

- 越天楽について、まだ授業を行っていないため、どのような工夫点があるかを知りたいです。また、この鑑賞教材で子ども達の興味を引くにはどうしたら良いのかも考えていきたいです。
- どうしても旋律を歌うことができたらそれで終わり、というような授業しかできていないので、どうすれば子ども達が表現豊かに歌唱することができるのか学びたいです。

○研修の振り返り

- 生活や社会に生かせるという点でただ歌を歌って終わりではなく、その後も音楽に興味をもって取り組めるように授業を考えることができました。越天楽のような扱いにくい題材も、西洋音楽との比較から既習範囲と結び付けられ少し取り組みやすくなったので、実践してみようと思います。
- 共通歌唱教材は興味を持たせることが難しいですが、歌詞だけでなくピアノ伴奏にも注目することで様々な考え方ができ、考えが深まると思いました。また、考えるだけでなく、表現して伝えるというところまで丁寧に指導していきたいと思いました。

【美術科】



【チャットを使った交流】
チャット機能なども使いながら、全体での意見交流を行いました。

○研修に向けて

- ICT を使った授業等、まだ挑戦しきれていないものや、他の先生方の授業の流れや題材などを知りたいです。特に、自分の授業の幅を広げていきたいです。
- 鑑賞の授業は、非常に難しいと感じています。先生方に学校での実践や情報を聞きたいです。また、鑑賞で大切にすべきことを学びたいと思います。現状としては、制作時間を多くとるため、鑑賞の時間をとることが少なくなってしまっています。

○研修の振り返り

- グループ活動を通して、自分では気付けない意見がたくさんあり面白かったです。子ども達の活動の中でも、グループ活動等の意見交流の時間を設けたいと思います。子どもたちが主題を見つけていけるような活動とは何かをこれから考えていきたいです。また、教員がすべて提示してしまうと、子ども達の自由な発想を妨げてしまうため、子ども達の活動に必要な情報を選択する必要性があると改めて感じることができました。
- 鑑賞について講義を受け、初任者同士で交流をしました。学習指導要領の教科の目標や内容でもありますが、対話を通した鑑賞や表現との関連性を図るなどが重点化されています。今回は、題材「最後の晩餐」を使って、初任者同士で有意義に交流することができました。生徒の見方や感じ方、主体性を育て、作者の心情や表現の意図と工夫を読み取り、生活や社会の中の美術文化に親しむ、様々な視点から鑑賞の指導について考えることができました。

【保健体育科】

○研修に向けて

- ２学期が始まり、前回の研修で取り組んだ各授業の目標に向けた授業づくりを活用することで、生徒に対する指示や説明が以前より通りやすくなったことが実感できました。本研修を通して、さらに目標に向けて取り組む中間目標の部分の授業づくりについて学んでいきたいです。
- 豊かなスポーツライフを実現するために、保健体育としてどのような授業づくりが有効的なのかを学んでいきたいです。また、豊かなスポーツライフとはどのようなものなのかも理解したいです。

○研修の振り返り

- 保健体育科としての役割について考える機会になりました。また、授業での生徒のつまずきや課題に対して授業者が予め想定しておくことの必要性を感じました。授業のねらいを生徒目線に立ち、シンプルで実践しやすい設定も意識していきたいと思いました。
- 保健体育の「調和のとれた生活」という単元で実際に考え、子ども達に付けさせたい力を思い付くだけたくさん書くということを初めてしましたが、とても重要なことだと感じました。授業を作る上でのゴール地点が、その授業で子ども達に付けさせたい力だと思うので、たくさん出して、その中から本当に一番大切なものは何か、またたくさんある場合は、どのタイミングでどれを伝えるのかなど、工夫することが大切だと感じました。

【技術分野】

○研修に向けて

- エネルギー変換の技術において、問題・課題を解決しようという活動で、生徒が身近にある問題をどのように発見し、解決していくのかヒントとなる手立てを今回の研修で学びたいと思っています。
- 各校に技術分野の教員が一人しかいないため、授業づくりが自由な反面それに伴って責任も大きいかと思います。今、自分がしている授業は正しいのかという不安に駆り立てられるときがたまにあります。その不安を研修で少しでも解消できたらと思います。

○研修の振り返り

- 回路図は苦手な生徒が多い分野で、この分野をどう指導するのかについての皆さんの意見が聞けて良かったです。特に、説明の手立てについては、グループで取り組むことを次の授業から取り入れてみようと思いました。
- 他の中学校の先生方が面白い授業を展開している中、自分は日々の業務に追われ教材研究を充分にできていませんが、生徒に分かりやすい授業をするためには、やはり教材研究が大事だと思いました。
- はんだづけをするときの動画を見せることのねらいについて考えました。様々な方向から撮影し、生徒がより分かりやすくなるようにすることや、動画であれば繰り返し視聴することができるので、分からないところも何度か視聴することによって、自分で工夫して作成することもできます。はんだづけのコツについては、自分が考えていたよりも様々なコツがありました。他の先生方と意見を交流することは普段あまりないので、とても有意義な時間となりました。

【家庭分野】

○研修に向けて

・今回は学習指導要領の中の「生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための自立に必要な力」について考えるため、授業内容をどこまで私生活に落としていけるのかを考えていきたいと思います。授業の単元の流れで、どこで実践を入れるのか他の先生の意見も聞きたいです。
・ICT を活用した授業について、動画を見せたりはしていますが、なかなかそれを活用して授業をすることができていないため、有効活用できるよう、他の先生方がどのようにして授業しているのかを知りたいです。

○研修の振り返り

・「生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための自立に必要な力」について、じっくり考えることができました。生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための自立に必要な力をベースに授業を考えていくと、生徒自身が課題を発見するところから課題解決までうまく繋がった授業を考えることができました。交流で他の先生方の意見を聞き、自分では思い付かないようなアイディアをいただくことができました。
・安全な実習のために留意することは、安全管理と子ども達への安全指導の２点ですが、安全指導の際には、実習前・実習中・実習後で、声のかけ方も変わってくると思いました。そのようなことを意識しながらこれから実習を行っていきたいと思いました。

【外国語科】

○研修に向けて

・本文を扱う授業が苦手です。文章の中身を見ていく際に、生徒を退屈そうにさせてしまいます。研修では、生徒が考える時間を多く持てる、本文や文章の扱いや授業づくりを学びたいです。
・言語活動の充実を図りたいのですが、実際はあまり取り入れられていません。状況設定をしっかりと考えていくことが大切であると分かっていますが、難しいと感じています。言語活動においてどのようなことを大切にしていけばよいのかを学んでいきたいです。

○研修の振り返り

・まず、コミュニケーションを図れない理由を考え、その逆を考えていくことで、生徒目線で考えることができました。今、教えている中でも即興力を目標にしています。ブレイクアウトルームで、先生方と意見交換をする中で、多くのヒントを得ることができました。多くの場数をこなすことや、教員が楽しみながら見本を見せること、生徒の状況に合わせて段階的に進めていくことの大切さを学ぶことができました。今後、生徒と共に楽しんで話すことなど、アウトプットに挑戦していきたいです。
・即興性をつけさせること、社会的な話題に関しての考えを書く活動の指導や、活動方法を考えることがとても難しかったです。どちらも慣れが大切だと思うので、普段からの授業の中に、small talk などを取り入れて、自分の意見を言うことに慣れていく必要があると思いました。また、そのトピックなども生徒が身近に感じる話題から選んで、どんどんとレベルアップしていくような工夫ができると思いました。